

「西部邁先生と親しくなったきっかけは？」

●ヤナセさんからの質問

西部邁先生との親しくなったきっかけは何でしょうか？差し支えなければ教えてください。又、関連するエピソードがありましたら教えてください。

●西田昌司の答え

私が議員になる前、まだ一市民であった頃（バブルの頃でもありました）に「朝まで生テレビ」というテレビ朝日の番組が流行っていました。家に帰って偶然にこの番組を見ましたが、西部先生がものすごい勢いでいろいろな論客を論破していました。我々が正しいと思い込んでいた「戦後の価値観」を徹底的に批判していましたが、私は雷にでも打たれるような大変な衝撃を受けました。「この方が、私が前から漠然と疑問に思っていることに対して真正面から答えておられる先生だ」と思い、すぐに西部先生の本を何冊も買って何度も読み返しました。しかし、西部先生の本を読まれた方はご存じだろうと思いますが、最初は非常に読みづらかったのです。言葉がよくわからなかったのですが、何度も読むと何となくわかってきました。

私が自民党の府会議員の頃には西部先生に電話をして講演をしてもらいました。またお食事にお誘いしたりして厚かましくもどンドンと接近したのですが、西部先生は快く引き受けてくださいました。お食事をしてお酒を飲んで歌を歌うと、終わる時間が当時は朝の4時頃になりました。この頃は「今日は早くやめよう」と西部先生がおっしゃいますが、それでも夜の1～2時くらいになります。長い時間お話をして歌を歌って、西部先生は私たちに素の姿をさらけ出してくれました。当然、私たちもさらけ出してお付き合いしました。このようなお付き合いを20年近くしてきました。

西部先生のお弟子さんで佐伯啓志という京都大学の教授がおられますが、この方は西部先生が主宰した「発言者」という雑誌に執筆していました。その論文を読んで佐伯先生もすごい方だと思い、すぐに本を買いにいきました。「アメリカニズムの終焉」という有名な本ですが、この本を何度も読みました。その後、京都大学の研究室に尋ねに行きました。それ以来、佐伯先生とも十数年お話をし勉強させてもらっています。お二人の先生ともに私が押し掛けても快く会っていただき親しくお付き合いさせてもらっています。ひとえに先生方の心の広さのお蔭でお付き合いが始まったということです。

皆さん方も興味のある先生がいたら手紙を書いたり訪問したりすると良いのですが、その前にその先生の考えをある程度理解できるようになるまで、その先生の本を書かれた本を何度も読んでおくことが重要です。私の会にそのような準備もなしに参加して質問される方がいますが、私の発信しているビデオレター等をきちんと見てくだされば分かるような質問があったりします。また私のことをよく知りもしないのに思い込みで発言される方もいますが、これは困ってしまいます。事前に読み込むのはエチケットですし、その準備がないと話にもなりません。今日は二人の先生と親しくなるきっかけについてお話させていただきました。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>